

血清性性腺刺激ホルモン製剤

要指示医薬品 指定医薬品

動物用ピーエムエスA1,000単位

【本質の説明又は製造方法】

妊娠初期の馬の子宮内膜胚で生成、分泌される妊馬血清性性腺刺激ホルモン(pregnant mare serum gonadotropin)製剤です。妊馬血清性性腺刺激ホルモンは、卵胞刺激ホルモン(FSH)様の作用を示し、弱いながらも黄体形成ホルモン(LH)様の作用も示します。卵胞発育障害、精巣機能減退等に有効です。

【成分及び分量】

1容器(凍結乾燥品)中

Table with 2 columns: 成分, 分量. Row 1: 血清性性腺刺激ホルモン, 1,000単位

添付溶解液

生理食塩液.....5mL

【効能又は効果】

- 牛(雌): 卵胞発育障害(卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮)、多排卵誘起
馬(雌): 卵胞発育障害(卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮)
めん羊(雌): 卵胞発育障害(卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮)、多排卵誘起
豚(雌): 卵胞発育障害(卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮)、分娩後の発情誘起、多排卵誘起
犬(雌): 卵胞発育障害(卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮)、無発情期における発情誘起
牛、馬、豚(雄): 精巣機能減退(精子減少症、軽度の精子死滅症)
犬(雄): 精巣下降不全

【用法及び用量】

添付の溶解液に溶解し、通常1日1回1頭当たり血清性性腺刺激ホルモンとして下記の量を筋肉内又は皮下に注射し、必要に応じて反復投与する。

- 牛: 500~2,000単位(多排卵誘起の場合2,000~4,000単位)
馬: 500~2,000単位
めん羊: 500~1,000単位(多排卵誘起の場合1,000~2,000単位)
豚: 400~1,000単位(多排卵誘起の場合1,000~2,000単位)
犬: 50~200単位

【使用上の注意】

「基本的事項」

1.守らなければならないこと

(一般的注意)

- 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。

- 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
本剤は定められた用法・用量を厳守すること。(取扱い及び廃棄のための注意)
小児の手の届かないところに保管すること。
本剤の保管は、直射日光及び高温を避けること。
本剤はエタノールによって効力が低下するので、注射筒などは煮沸滅菌し、さらに少量の添付溶解液で洗ってから使用すること。
本剤は、溶解液に混和後直ちに振盪溶解し、速やかに使用すること。
使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

2.使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- 妊娠中の女性、喘息患者、気管支その他呼吸器系に障害のある者に、投与作業を行わせないこと。

- 誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

(対象動物に対する注意)

- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

「専門的事項」

(副作用)

- 本剤の投与により、過排卵を起こし、多胎妊娠することがある。
本剤の投与により、過敏性反応を起こすことがある。

(その他の注意)

- 本剤の反復投与により、抗ホルモン抗体が産生され効果が減ずることがある。

【使用期限】 包装に表示の使用期限内に使用すること。

【包装】 1,000単位×10管 (溶解液5mL 10管添付)

【製品情報のお問い合わせ】

日本全薬工業株式会社

〒963-0196 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

フリーダイヤル 0120-452-793

受付時間 9:00-17:00(土日祝日・弊社休業日を除く)

製造販売元



日本全薬工業株式会社
ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。